

# PTA みやぎ

MIYAGI Parent-Teacher Association

地域ぐるみで育てよう、心豊かでたくましい「みやぎの子」

第74回宮城県PTA

- 研究大会丸森大会…… 2～3
- 令和7年度表彰一覧…… 4
- 令和7年度三行詩コンクール… 5
- PTAかわら版…… 6～7
- 令和7年度
  - 善行篤行児童生徒表彰…… 8
  - お知らせ…… 8
  - 編集後記…… 8



## さいころの日と西小っ子の日

東松島市立矢本西小学校では毎月7日をさいころの日として、2学年の数字の合計が7の組み合わせ（1・6年、2・5年、3・4年）で異学年交流活動を行っています。1・6年では読書タイムの時間に、6年生が1年生に絵本の読み聞かせや、2・5年では5年生が花山自然体験学習で体験したことを2年生に紹介します。3・4年は講堂で3・4年生対抗ドッジボールなどを行っています。どの学年の児童も他学年の児童との交流を楽しんでいます。

また毎月24日は西小生としての誇りと愛校心を育てるために、24日（にし）に礼儀作法を学ぶことや、全校遊びやたてわり清掃などの全校で関わり合う活動を行っています。6年生の男の子に感想を聞いたところ、全校遊びの「猛獣狩り」が楽しかったようです。猛獣の文字数に合わせて集合するゲームで、ランダムに猛獣の文字数が変わり集合する人数が変更するので子どもたちはハラハラしながら活動を楽しみました。

通信員 佐藤 桂



## 第74回宮城県PTA研究大会

## 丸森大会

令和7年10月26日(日)

丸森町立丸森中学校

「こども全力応援宣言」



開会のあいさつをする鳥居恵理香実行委員長



主催者のあいさつをする平吹淳会長

「こども全力応援宣言」を大会テーマに始まった丸森大会。開会のあいさつでは丸森大会鳥居恵理香実行委員長から「今日の出会いと学びが、明日からのPTA活動やこどもたちの関りに少しでも新しい力となり、何かを変えてくれる誰かを待つのではなく、自分自身が変わることを。応援されるこどもだけでなく応援できる自分としてあり続けられること」を大会開催に向けて想いを話されました。

続いて主催者あいさつでは大会会長宮城県PTA連合会平吹淳会長から、PTAの原点「こどもの育ちをみんなで支える」というシンプルでまっすぐな想いを家庭・学校・地域が立場を越えて支えあい、地域とともにこどもたちを育てる「新しく、楽しいPTAのかたち」を丸森から一緒に創りましょうと話されました。ご来賓の代表として祝辞を宮城県知事代読、宮城県教育委員会千葉潤一副教育長より頂き、開催地である丸森町保科郷雄町長から歓迎のあいさつを頂きました。来賓紹介後には優良PTA団体に表彰状贈呈があり、18団体に表彰状が贈呈され開会行事を終えました。

アトラクションは2団体から発表があり、一つ目として丸森小学校3年生による伝統芸能「青葉の田植踊」を丸森大会発表用にアレンジして踊りました。青葉の田植踊は、宮城県指定・無形民俗文化財となっており美しい振りと御詠歌のような節回しが特徴です。旧大内小学校から丸森小学校へと受け継がれて総合的な学習として保存会の方々に講師としてお招きし、口上や踊りを学んでいます。こどもたちの踊りがとても



丸森小学校3年生による「青葉の田植踊」



丸森小学校4年生による民謡「新相馬節」

力強く、美しく感じることができました。

二つ目は丸森小学校4年生による民謡「新相馬節」です。新相馬節は宮城県から福島県にかけて伝わる民謡です。郷愁を誘う哀調を帯びた節回しが特徴で、丸森町大内では新相馬節全国大会が行われています。こどもたちの声が情感豊かに会場に響き、とても印象的でした。

閉会行事では、宮城県PTA連合会鈴木洋市副会長より大会宣言(案)及び大会決議が読み上げられ、参加者多数の拍手により承認されました。その後、次期開催地である塩竈市へ大会旗引継ぎが行われ、塩竈大会実行委員会鈴木晶晴氏がひがしものマグロでPRを行いました。最後に総合司会を担当された国立大学法人新潟大学1年生齋藤ことは氏が交通安全に気を付けるよう参加者へ呼びかけ大会の一切が無事に終了しました。

調査広報委員 佐藤 桂

# 丸森大会「ディスカッション」



パネルディスカッションでは、「学校再編に本気で向き合った人たち」～それぞれのbefore & after～をテーマに、この問題に直接関わった学校・地域・こども・PTAといったそれぞれの立ち位置のパネリストを迎え、丸森町内の小中学校の再編について、そこに至るまでの経緯と再編後の様子が語られました。

「学校を無くして、地域を潰す気か！」との声や「再編ありきの話し合いには協力出来ない」という声が多数の状況で、学校が無くなることで地域全体が衰退に向かい人口減に拍車を掛けるのではないかと不安が募っていたようです。当時小学生であったパネラーからの発言では、「閉校するイメージがわからず、期待よりも不安が大きかった」との想いも語られました。そのような状況の中、この課題に向き合いあらためて「学校の使命とは何か？」を自らに問いかけ、集団で学ぶことの意義を確認し、メリット・デメリットを整理しながら、「こども集団での経験」の大切さから再編の価値を見出して進んできたとの事でした。意見の違いはあるけれど、それぞれがこどもたちや地域への熱い想いを持って話し合いに望んでおり、新たな変化が生じる際には、出来ない理由を探すのではなくやる理由を探していき、それぞれの想いを丁寧に擦り合わ

せていくことがとても重要であると感じさせられました。

再編後は、1校辺りのこどもの数は10倍になり、こどもたちは「初登校で知らない人ばかりでふるえながらの状況があり、最初こそ急に大きな集団となることへの不安もあったが、友だちの知らない側面が徐々に見えて打ち解けて、すぐに楽しい気持ちになった」との言葉もあり、新たな環境の中で積極性が増したと自ら成長を感じるなど、こども自身がメリットを実感していた様子がうかがえました。大人の心配よりも実際にはこどもは順応していけるため、だからこそ大人が不安ばかりを見せるのではなく、こどもたちの自ら伸びる力を信じて見守ることが大切であると感じました。

学校再編などの地域課題は、丸森町に限らず県内の他の市町村でも今後見られてくる課題であると思います。パネルディスカッションを通じて、実際にこのような状況が自らの地域において直面した際には、それぞれの立場から様々な想いや意見が入り混じることが予想されますが、必ず根幹に「こども」があり、この筋を見失わずに前向きに議論を深めていくことが出来るようにしていきたいと思いました。

調査広報担当副会長 齋藤 勇介

# 令和7年度表彰一覧

(敬称略)

## 令和7年度日本PTA年次表彰式 第47回全国小・中学校PTA広報紙コンクール表彰式

公益社団法人日本PTA全国協議会



### 文部科学大臣表彰

#### 【団体 1】

- (1) 丸森町立丸森中学校PTA

### (公益社団法人)日本PTA全国協議会長表彰

#### 【団体 2】

- (1) 名取市立第二中学校父母教師会
- (2) 大崎市立古川第四小学校父母教師会

#### 【個人 4】

- (1) 七ヶ浜町立七ヶ浜中学校父母教師会会長  
佐藤 直美
- (2) 名取市立下増田小学校父母教師会会長  
佐藤 繁樹
- (3) 塩竈市立玉川中学校父母教師会顧問  
佐藤 英
- (4) 宮城県PTA連合会事務局長 佐藤 博明

### 東北ブロックPTA協議会長表彰

#### 【団体 2】

- (1) 気仙沼市立気仙沼中学校PTA
- (2) 七ヶ浜町立松ヶ浜小学校父母教師会

#### 【個人 10】

- (1) 名取市立関上小中学校PTA元会長  
南部 比呂志
- (2) 東松島市立大塩小学校PTA会長  
二階堂 順一
- (3) 県立古川黎明中学校PTA前会長  
湯山 栄大
- (4) 白石市立深谷小学校PTA顧問 平間 正
- (5) 岩沼市立岩沼中学校父母教師会顧問  
小助川 啓
- (6) 旧大崎市立川渡小学校PTA会長  
西條 歩
- (7) 加美町立宮崎小学校父母教師会前会長  
千葉 敏明
- (8) 大和町立吉岡小学校PTA会長 早坂 基
- (9) 宮城県PTA連合会副会長 鈴木 洋市
- (10) 宮城県PTA連合会副会長 齋藤 勇介

令和7年度

# 三行詩コンクール



楽しい子育て全国キャンペーン

～家庭で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～



## 全国コンクール 小学校の部 佳作

富谷市立日吉台小学校 4年 松本 昂大

弟も今日から1年生  
手をつないで学校に行く  
何かあったらお兄ちゃんにたよってね



宮城県PTA連合会会長賞 (日本PTA全国コンクールへの推薦作品)

### 【小学生の部】

氏名	学校名	学年	作品
千葉 咲 菜	登米市立浅水小学校	1年	ありがとう ごめんなさいを いいましょう
水 澤 絃	東松島市立大曲小学校	2年	あさになるとふあんで泣いていたボク まいにち学校までいっしょについてくれたママ 2年生になったら泣かないでひとりでいけるようになったよ
金 野 圓	気仙沼市立鹿折小学校	3年	パパがいる ママがいる みんながいるからあんしんする
小野寺 怜	気仙沼市立鹿折小学校	4年	けんかをしたらまほうのことば ごめんね
松 本 昂 大	富谷市立日吉台小学校	4年	弟も今日から1年生 手をつないで学校に行く 何かあったらお兄ちゃんにたよってね

### 【中学生の部】

氏名	学校名	学年	作品
佐 藤 百 華	東松島市立矢本第一中学校	1年	災害時のルールは家族で細かく決めがちだけど 肝心なのは生きて会うこと
河 野 陽	加美町立鳴峰中学校	3年	押してくれる手がそこにある なにも言わなくてもそばにいて それだけで強くなれた 今度は自分が押さないと
後 藤 嵩 英	加美町立鳴峰中学校	3年	俺が坊主いやがったら なら俺も坊主になる と言った父の優しさ
津 滝 瞭	加美町立鳴峰中学校	3年	「できるかも？」 気まぐれで料理をするけれど…そして気がつく母の偉大さ
鎌 田 美 羽	加美町立鳴峰中学校	3年	悩み事 隠してもすぐばれ 「なんかあった？」の優しい一言

### 【一般の部】

氏名	学校名	作品
田 中 美 保	大崎市立古川第三小学校	「ママ」「ママ」と呼ばれ 家事の手を止め行ってみれば「大好きだよー！」と子どもたち 用件それだけ？ 忙しい夕方、ふっと笑って心が安らぐ 「大好き貯金」に満期なし
佐 藤 千 尋	七ヶ浜町立亦楽小学校	き 気持ち安らぐ場所 ずっと一緒にいたい家族 な なんととっても私は我が家が大好き!
菅 原 洋 美	大崎市立古川第四小学校	仕上げ磨きの卒業で 一人で取り組む息子を背に 嬉しいやら 心配やら
高 橋 純 子	加美町立宮崎小学校	引っ込み思案な私が育てた娘が 運動会で団長を務めるなんて 私も負けずに応援に気合を入れる!!
千 葉 亜 希	東松島市立矢本第一中学校	「あーやっぱうまいなあ」 この一言が聞きたくて この一言がうれしくて 今日私は台所へ立つ

# かわら板



## 南三陸町

白熱の戦い!!

通信員 館寺 俊明

南三陸町PTA連合会の活動の中で特に盛り上がるのは、なんとといっても6月に行われるビニールバレー大会です。南三陸町は小中学校7校ながらも大会には20チームを超える参加があり、保護者・先生方が1ヶ月くらい前から夜間の練習をして大会に臨みます。練習期間も含めてお互いにコミュニケーションや親睦をはかるとも良い機会になっています。大会当日は学校ごとにおそろいのTシャツを身にまとい、朝から夕方まで熱戦を繰り広げながら他校PTA会員との素晴らしい交流の場にもなっています。

## 加美郡

高校生によるクマ対策講座

通信員 鈴木 磨理子

色麻町立色麻学園は、令和5年度から義務教育学校になります。1年生から9年生までが一緒に学習をしています。今年度は、連日のクマ出没を受け、宮城県加美農業高等学校との連携事業の一環として、鳥獣対策チームの生徒による「クマ対策講座」を実施しました。万が一、クマと遭遇した際の適切な行動について、実演を交えながら分かりやすく説明をしていただきました。「子グマへの対応」や「人が襲われている時の行動」など、具体的な質問が出るなど、関心の高さがうかがえました。最後には、クマの毛皮や手の剥製に触れ、鋭い爪の恐ろしさを実感するなど、クマの出没が多い色麻町で、安全な生活を送るための貴重な学習機会となりました。



宮城地区PTA連合会では、令和7年11月22日(土)に地区セミナー講演会を開催いたしました。今回は、「弁当の日」が生み出す「くらしの時間」〜家族の絆は、いつ生まれるのか〜と題して、講師に香川県の小中学校、県教育委員会で勤務された、子どもが作る「弁当の日」提唱者の竹下和男氏をお招きし、開催いたしました。献立、買い出し、調理、弁当箱詰め、片付けの全てを児童が行うことで子どもの可能性を広げる取り組みで私たち大人の視野を広げる貴重な講演となりました。



## 宮城地区

「弁当の日」が生み出す

「くらしの時間」

〜家族の絆は、いつ生まれるのか〜

通信員 庄子 嘉洋

# PTA



## 亙理郡

笑顔あふれる  
坂小フェスティバル

通信員 建村 勇樹

山元町立坂元小学校では、11月1日(土)に「坂小フェスティバル」が開催されました。これは平成18年度に協働教育の一環として始まったPTA行事で、「子どもたちを楽しませたい!」という想いに賛同した保護者や地域の方々が協力して運営しています。当日は、射的やおかしすくいなど、9つのお楽しみブースを催され、子どもたちもたのびました。大人の笑顔があふれていました。



もたのびました。大人の笑顔があふれていました。大人も楽しめる「おとなカフェ」も開かれ、手作りスイーツを囲んで交流し、親睦を深めていました。学校と地域、人とのつながりを感じる、とても温かい1日となりました。



・大郷小学校PTA研修会  
「得意を見つけよう」をテーマに、視覚、聴覚、触覚、言語など人それぞれ異なる優位感覚について学習。子どもの個性と向き合う上での示唆を得ました。

・地区PTA研修会  
地区PTA研修は会柳浩平先生による「スマホはどこまで脳を壊すか」の講演を通じて、デジタルデバイスの利用と、脳の前頭前野を使う意識の重要性を再認識しました。

・意見交換会  
意見交換会の特色ある活動として、各学校のPTA会長と教頭先生が一堂に会し、テーマに沿った活発な意見交換を実施しました。

## 富谷黒川地区

地区PTAの運営

通信員 高橋 秀美

## 柴田郡

『教職員名鑑』

通信員 佐藤 玲

槻木中学校父母教師会の事業である『教職員名鑑』を紹介します。

昨今の課題として、役員・委員の担い手不足があります。本年度より、担当教諭の負担軽減や委員の負担軽減を目的として委員会を廃止し、事業を二つに絞りました。この事業の一つが『教職員名鑑』の発行です。

昨年度、試験的に実施し一定の効果を得られたことから、本年度は年2回発行していた会報誌を廃止し、教職員名鑑の1本としました。教職員の顔と人間性が確認でき、一定の理解を得られております。





# 報 告

<http://www.miyagi-pta.gr.jp/>  
☎022-295-9581・9590

## 令和7年度 善行篤行児童生徒表彰

山元町立山下第一小学校	6年	渋谷	佳恵子
石巻市立渡波小学校	4年	高橋	空叶
多賀城市立城南小学校	6年	白出	彩姫
//	6年	近藤	かえで
多賀城市立高崎中学校	3年	安藤	蓮
//	3年	石森	慶汰
//	3年	千葉	颯介
//	3年	奥山	蓮翔
//	3年	高橋	壮亮
//	2年	嶋原	那奈
//	1年	遠藤	莉央
//	1年	山口	叶望
岩沼市立岩沼西中学校	3年	木村	香衣
//	3年	大友	優芽
//	1年	山下	陽
//	1年	高山	実優
涌谷町立涌谷中学校	3年	及川	結衣
//	3年	鈴木	結衣
気仙沼市立松岩中学校	2年	佐藤	乃華
//	2年	小山	陽向
//	2年	佐々木	蓮
//	1年	佐藤	心華
多賀城市立多賀城中学校	3年	星	綺斗
//	3年	五島	啓太
//	3年	加藤	翔
山元町立山元中学校	3年	櫻井	莉空
//	1年	吉野	綾人
//	1年	横山	寧々
//	1年	平田	桜空
//	1年	森谷	咲愛
//	2年	大宮	煌生
//	1年	寺嶋	隼汰
//	1年	星	優成
//	1年	渡辺	颯太
亘理町立逢隈中学校	3年	相澤	果凛
富谷市立成田小学校	5年	佐々木	紘太
//	5年	木戸口	大輝

## 令和8年度の主な行事予定

- 5月30日(土)  
代議員会  
会場・・・青年会館
- 7月11日(土)  
第21回単位PTA会長会  
会場・・・ホテル白萩
- 8月21日(金)～22日(土)  
第74回日本PTA全国研究大会奈良大会
- 9月12日(土)～13日(日)  
第58回日本PTA東北ブロック研究大会秋田大会
- 10月25日(日)  
第75回宮城県PTA研究大会塩竈大会  
会場：塩竈ガスセンター

## 第42回宮城県PTA連合会 広報紙コンクール作品募集

各単位PTAが作成した広報紙をぜひ本コンクールに応募ください。

### 【応募方法】

令和7年4月1日～令和8年3月31日までに年1号以上の発行された広報紙全号を各2部と応募票を県PTA事務局に送付ください。

また、印刷物で配布せずインターネットを介して閲覧するものを「WEB版」として応募を受け付けします。

「WEB版」はWEB版応募票を記入の上、応募票を直接miyagi-PTA@h4.dion.ne.jpまで送付ください。

### 【応募期間】

令和8年3月10日(火)  
～4月24日(金)

※応募締切厳守

### 【送付先・お問い合わせ先】

宮城県PTA連合会へ  
直接ご連絡ください。

第41回広報紙コンクールの結果



<https://miyagi-pta.gr.jp/41th-kouhoushi-nyusho/>

## 編集後記

昨年末、某テーマパークに家族旅行へ出かけました。メディアなどで見る限りではとても広いのかなと思っておりました。私は趣味で毎日ランニングをしています。旅行中もランニングをしてテーマパークの外柵回りを1周したところ3kmありませんでした。私としてはそんなに広くないと感じました。感じ方は人それぞれありますが実際に測らないとわからないものでした。

PTA活動も同じことが言えると思います。感じ方は人それぞれ、実際に活動してみないとわからない。皆さんも是非一緒に活動してみませんか。

調査広報委員 佐藤 桂



環境に配慮した用紙・  
インクを使用しています。

PTAみやぎ第198号 令和8年2月27日発行  
発行所/宮城県PTA連合会・印刷/有限会社 南郷印刷